



2021年9月2日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック  
代表者名 代表取締役社長 福永 健司  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰  
(電話番号 03-6551-2601)

### 当社連結子会社の(株)安評センターにおける 実験大動物用次世代デジタルテレメトリーシステムの導入に関するお知らせ

当社連結子会社の[株式会社安評センター](#)（代表取締役社長：福永 健司、静岡県磐田市 以下、安評センター）は、大動物の行動量系の指標の測定を行う次世代デジタルテレメトリー<sup>※1</sup>システム PhysioTel<sup>®</sup> Digital (Data Sciences International 社) を導入し、試験受託を開始いたしますので、お知らせいたします。

安評センターは、CROとして主に医薬品、食品、食品添加物、農薬、飼料添加物、一般工業化学物質等の化学物質の安全性試験のサービス及び遺伝子改変動物の作製受託を提供しています。

このたび導入した次世代デジタルテレメトリーシステムは、大動物の生理現象をリアルタイムで観察するテレメトリーにおける、世界初のデジタルシステムです。デジタル通信によって、クリーンでより信頼性の高いデータ取得を実現させたことで、これまで不可能であった動物の集団生活環境下における計測も可能となります。さらに、3軸方向の加速度センサー内蔵次世代型テレメトリー送信器を用いることで、実験者による動物との対面観察は不要となり、自然な行動の観察が非常に困難とされる霊長類特有の行動の詳細な定量的評価が可能となります。

安評センターは、2021年3月期に大型動物飼育管理施設の整備を完了したことを受け、GLP基準安全性試験サービスの受注に注力しております。今回、大動物用次世代デジタルテレメトリーシステム PhysioTel<sup>®</sup> Digital を導入することにより、安全性薬理試験<sup>※2</sup>ガイドライン（平成13年6月21日医薬発第902号医薬局長通知）に基づくイヌおよびサルの安全性薬理コアバッテリー試験<sup>※3</sup>サービスを開始し、創薬支援事業における高付加価値サービスの拡充に努めてまいります。

今後も、当社グループは、強固な財務基盤及び事業収支を背景に、更なる拡大成長に向け創薬支援事業における研究開発、設備投資及びM&Aへの積極的投資を推進し、事業拡大を図ってまいります。

◆ご参考：

※1 テレメトリー

テレメトリーとは、遠隔操作で計測することで、非臨床試験においては実験動物に計測装置を装着し、無麻酔・非拘束条件下で血圧、心拍数、心電図を測定することです。



※遠隔操作で測定

※測定データ



※動物飼育室

※2 安全性薬理試験

安全性薬理試験とは、新規医薬品の安全性を薬理的観点から検討する非臨床試験であり、曝露に関連した被験物質の生理機能に対する潜在的に望ましくない薬力学的作用を検討する試験です。

※3 コアバッテリー試験

コアバッテリー試験とは、生命維持に重要な影響を及ぼす器官系における被験物質の作用を検討することを目的とする安全性薬理試験です。コアバッテリー試験については、原則として、医薬品の安全性に関する非臨床試験G L P基準に従って実施することとされています。

以上